

# 第73回 医学教育セミナーとワークショップ in 愛知学院大学

2019年8月9日(金)PM ~ 10日(土)AM  
愛知学院大学(楠元キャンパス)

## セミナー 学力低下時代の学習者支援

TL

座長：藤崎和彦 (MEDC)

福岡歯科大学における学習者支援の取り組み

講師：内田竜司 (福岡歯科大学)

北海道科学大学薬学部における学習支援の試み ~初年次教育およびピアサポートを中心として~

講師：野呂瀬崇彦 (北海道科学大学)

## MEDC企画 医療者教育学の探求：ワークショップから修士・博士まで

### WS-1 真剣にシリアスゲームから医学教育を考える

TL

企画：田中淳一 (東北大学)、照屋周造 (沖縄八重山病院)、藤井達也 (山王病院)、近藤 猛 (名古屋大学)、柴田綾子 (淀川キリスト教病院)

### WS-2 臨床実習指導。困っているのは、学生？教員？~コーチング入門~

ML

企画：鶴田 潤 (東京医科歯科大学)、鈴木一吉 (愛知学院大学)、田口則宏 (鹿児島大学)

### WS-3 これでいいの？ 歯科との多職種連携

ML

企画：吉田礼子 (鹿児島大学)、鈴木一吉・塚本文隆・古川絵理華 (愛知学院大学)

### WS-4 第13回東海地区SP勉強会 & 交流会 (拡大版)

TL

企画：東海地区SP養成者ネットワーク、吉田登志子 (岡山大学)、上原 任 (日本大学)

### WS-5 気づきを促す、学びを引き出す **FELLOWSHIP**

TL

企画：西城卓也・今福輪太郎 (MEDC)、西屋克己 (関西医科大学)

### WS-6 プロフェッショナル教育を実践しよう

TL

企画：木尾哲朗 (九州歯科大学)、角 忠輝・榎 則章・尾崎哲則・浅沼直樹・長谷由紀子・平田創一郎・星野由美・和田尚久 (日本歯科医学教育学会 倫理・プロフェッショナリズム教育委員会)、鈴木一吉 (愛知学院大学)

### WS-7 災害時に向けた医学・歯学教育を考えよう！

ML

企画：岡 広子 (広島大学)、熊谷章子 (岩手医科大学)、勝村聖子 (鶴見大学)、齊藤久子 (千葉大学)

### WS-8 既存のカリキュラムで「健康格差の社会的決定要因(SDH)」を教える・学ぶ

CD

企画：武田裕子・葛玉栄 (順天堂大学)、小曾根早知子 (筑波大学)、堀 浩樹 (三重大学)

### WS-9 質的研究をはじめてみよう！ - 研究計画を体験してみる

R

企画：長谷由紀子 (静岡県立大学)、脇 忠幸 (福山大学)、梶谷佳世 (呉記念病院)、今福輪太郎 (MEDC)

| 8月9日(金)     |        |      |      |      |       |
|-------------|--------|------|------|------|-------|
| 12:30-16:15 | WS-1   | WS-2 | WS-3 | WS-4 | WS-5~ |
| 16:30-17:00 | MEDC企画 |      |      |      |       |
| 17:00-18:10 | セミナー   |      |      |      |       |
| 18:30-20:00 | 懇親会    |      |      |      |       |
| 8月10日(土)    |        |      |      |      |       |
| 9:00-13:00  | WS-6   | WS-7 | WS-8 | WS-9 | ~WS-5 |

\* 記号 ( TL 等 ) は、アソシエイト認定のための学習領域を表しています。詳細は、MEDCホームページをご覧ください。

第74回  
国際医療福祉大

2019/10/12-13

第75回  
岐阜

2020/1/25-26

第76回  
岐阜 併催  
第21回教務事務職員研修  
2020/5/22-24

第77回  
関西医大

2020/秋

**MEDC**  
MEDICAL EDUCATION DEVELOPMENT CENTER, GIFU UNIVERSITY

医学教育共同利用拠点  
岐阜大学医学教育開発研究センター

TEL : 058-230-6470 FAX : 058-230-6468  
〒501-1194 岐阜市柳戸1番1  
E-mail : medc@gifu-u.ac.jp

MEDC

検索



2019  
夏

# セミナー 学力低下時代の学習者支援

TL

座長： 藤崎和彦 (MEDC)

日時： 8月9日(金)17:00~18:10

概要： 受験者数減少や様々な要因で、より支援が必要な医療系の学生が増えている現状が指摘されている。このような時代、学生を支援したり、初年次にやる気を促したり、卒業や国家試験の支援をしたりする方策には、様々な工夫・実習が必要であり、全国の大学教員が関心を持つところである。今回は歯学部と薬学部における取り組みを、2名の講師からご紹介いただき、残り時間で活発な質疑応答を行いたい。

## 福岡歯科大学における学習者支援の取り組み

講師： 内田竜司 (福岡歯科大学)

概要： 近年、少子化のもとで大学入学定員が増加したことにより、大学に入学してくる学生の学力が低下している。2013年にベネッセ教育総合研究所が実施した「高大接続に関する調査※」では、学生の学力低下を問題視する大学が7割以上、学生間の学力差を問題視する大学も7割近くに上り、いずれも国立より私立に多い傾向がみられたと報告している。本学でも同様の傾向が認められ、現状の改善を行うことを目的に、入学前教育や新規科目の配置等、種々の学習支援を実施しているため、その概要について紹介する。

※[https://berd.benesse.jp/up\\_images/research/2014\\_koudai\\_all.pdf](https://berd.benesse.jp/up_images/research/2014_koudai_all.pdf)

## 北海道科学大学薬学部における学習支援の試み ～初年次教育およびピアサポートを中心として～

講師： 野呂瀬崇彦 (北海道科学大学)

概要： 基礎学力に関して多様な背景をもつ学生が大学に入学する今日において、入学前教育はもとより、入学後の学習支援の重要性が高まりつつある。本学薬学部も例に漏れず、入学者の基礎学力格差は増大傾向にある。こうした背景を踏まえ、本学では2015年より初年次教育科目「薬学生入門」において大学における学習方法を学ぶプログラム「ラーニングスキル」を開講している。また、昨年度からは上級学生が下級生の学習支援を行う「ピアサポートプログラム」を導入している。本発表では、これらの概要について紹介する。

## MEDC企画 医療者教育学の探求：ワークショップから修士・博士まで

講師： 西城卓也 (MEDC)

日時： 8月9日(金)16:30~17:00

概要： 医療者教育に関する部門・センターが医育機関に多く設置されたが、専任者が医療者教育学を学ぶ機会は、我が国ではまだ少ない。岐阜大学MEDCは、多職種の医療者を対象として、2000年から「医学教育セミナーとワークショップ」、2008年から大学院博士課程、2015年からアソシエイト制度とフェローシップを提供して、医療者教育の学びを活性化してきた。これらの事業や、新たに設置の申請をしている大学院修士課程を通じて、医療者の成長に合わせた段階的学びをいかに提供し、日本の医療者教育学を作り上げようとするのか、次の20年の展望を紹介する。

## WS-1 真剣にシリアスゲームから医学教育を考える

TL

企画： 田中淳一 (東北大学)、照屋周造 (沖縄八重山病院)、藤井達也 (山王病院)、近藤 猛 (名古屋大学)、柴田綾子 (淀川キリスト教病院)

日時： 8月9日(金)12:30~16:15

概要： 伝統的な講義形式だけでなく、近年は多様な教育方法が出現している。中にはゲームを取り入れた教育も含まれ、医学教育においても、best evidence medical education (BEME) Guideでも報告されている。今回取り上げるシリアスゲームは、一般的には社会問題になっている事柄、または教育コンテンツに関して、ゲーム化して疑似体験するものである。今回は、医学教育に役立ちそうなシリアスゲームを体験しつつ、ゲームを活用した教育実践のためのブレインストーミング、討論を行い、将来、ご自身で実践する医学教育のシリアスゲームのタネを探して頂きたい。

対象： 医学部教員・指導医・後期研修医・指導的立場にある医療従事者、ほかゲームに興味のある人

定員：20名

## WS-2 臨床実習指導。困っているのは、学生？教員？～コーチング入門～

ML

企画： 鶴田 潤 (東京医科歯科大学)、鈴木一吉 (愛知学院大学)、山口則宏 (鹿児島大学)

日時： 8月9日(金)12:30~16:15

概要： 卒業時の質保証に向けて、臨床実習は医科・歯科問わず広い分野で重要である。講義室からのマス教育から、マンツーマン指導となる臨床教育において、学生指導に頭を悩ませることはないだろうか。臨床現場では学生は、新人の見習いであり、右往左往する理由がどこかにある。「学生なのに何も考えていない」という視点から「学生だから考えつかないのかな？」と考えることで、私たち自身の助けになる可能性がある。「学ばせる」のではなく、目の前の学生が「学び、変化し、成長する」よう「育てる」ことも重要である。今回は、日頃の臨床現場での学生指導の課題を、ざっばらんに話し合いつつ、コーチングの基本を知ることで、課題の解消につながる要素を探し、日頃の指導に役立てる機会となることを目標とする。

対象： 卒前臨床現場で学生指導に関わる方

定員：18名

## WS-3 これていいの？歯科との多職種連携

ML

企画： 吉田礼子 (鹿児島大学)、鈴木一吉・塚本文隆・古川絵理華 (愛知学院大学)

日時： 8月9日(金)12:30~16:15

概要： 今回は、歯科から他職種へ伝えたいこと、他職種から歯科へと求めるものを明らかにして、IPEの授業方略の提案をしてみたい。歯科では、歯科医院内での歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士、歯科助手のチーム医療で完結する時代が長く続いていた。しかし超高齢社会で患者のQOLの向上をはかるには、従来の小さなチーム医療では対応できない。本ワークショップでは、多職種連携医療における歯科の現状を振り返り、医療福祉専門職の一員としての歯科のありかたを考え、IPEの授業方略を検討したい。歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士、歯科助手はもちろんのこと、医師、薬剤師、看護師、臨床検査技師、放射線技師などなど、歯科界に黒船来航気分、次なるIPEを考えてみたい。

対象： 歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士などの歯科医療職、医師、看護師、薬剤師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士などなど医療専門職の方、専門職連携教育に興味のある方。

定員：20名

## WS-4 第13回東海地区SP勉強会&交流会 (拡大版)

TL

企画： 東海地区SP養成者ネットワーク、吉田登志子（岡山大学）、上原 任（日本大学）

日時： 8月9日(金)12:30～16:15

概要： 2013年から始まり、年2回程度東海地区の医療系大学が持ち回りで担当してきた「東海地区SP勉強会 & 交流会」が13回目を迎えた。今回は多くのSPに経験の少ない歯科医療のシナリオを題材にした内容で、全国の皆さまにご参加いただける拡大版で行いたい。医療コミュニケーションの教育において、模擬患者さんにご協力いただく授業や実習の学習効果は誰もが認めるところである。特に模擬患者さんからのフィードバックは、初学者である学生の心に響く大切なメッセージとなる。より効果的なフィードバックを与えられるよう、模擬患者さんと養成者ともにフィードバックのノウハウを一緒に学ぶ場としたい。

対象： 全国の模擬患者と模擬患者養成者、その他模擬患者活動に興味がある方

定員：100名

## WS-5 気づきを促す、学びを引き出す

FELLOWSHIP

TL

企画： 西城卓也・今福輪太郎（MEDC）、西屋克己（関西医科大学）

日時： 8月9日(金)12:30～16:15・10日(土)9:00～13:00

概要： 「研修生のやる気を出させることまで指導者の仕事なのか」「積極性のない学生は何をしても響かない」等、教育者側の視点のみで「教育」を議論してしまうことがあるかもしれない。学習者が受動的から能動的に、依存的から主体的になるためには、教育者として何をしたらいいだろうか。アクティブ・ラーニングという概念は必ずしも新しいものではないが、学習者の気づきを促し、主体的・対話的で深い学びを引き出す仕掛けは常に開発されている。世の中において変えられるものは、過去ではなく未来、他人ではなく自分である。皆さんがフェロシップに参加したからと言って、明日から学習者が人が変わったように学ぶことはあり得ない。学習者がよりアクティブになることを目指して、過去の教育者としての自分を振り返り、明日からのティーチングを考えてみよう。今回は、「学びの質を高める」ための知見を踏まえつつ、超実践的セッションを開催したい。

対象： フェロシッププログラム2019モジュール1 参加者限定（一般の参加者は受け付けておりませんのでご了承ください）

## WS-6 プロフェッショナリズム教育を実践しよう

TL

企画： 木尾哲朗（九州歯科大学）、角 忠輝・榎 則章・尾崎哲則・浅沼直樹・長谷由紀子・平田創一郎・星野由美・和田尚久（日本歯科医学教育学会 倫理・プロフェッショナリズム教育委員会）、鈴木一吉（愛知学院大学）

日時： 8月10日(土)9:00～13:00

概要： 平成28年度改訂版の医学および歯学教育モデル・コア・カリキュラムの項目Aの1番目にはプロフェッショナリズムが掲げられている。そこには狭義のプロフェッショナリズムが書かれており、医療系学生へプロフェッショナリズム教育を行なう重要性が提示されている。当委員会は、冊子「よき歯科医療人になる20の質問」やDVD「入れ歯はひとつ」のようなシナリオや視覚素材の教育資源を開発し、その活用法についてワークショップやシンポジウムを実施してきた。今回は、どのような講義を行なうと、学生の情意をより刺激できるかについて、参加者と考え、今後の講義を行う際のヒントを発見してみたい。現在作成中の学生用教材も紹介する。参加者から頂く事前調査の結果を踏まえて進めたいので、ご協力をお願いしたい。

対象： 医療系教育機関教員、医療者、プロフェッショナリズムに興味のある方、情意教育に興味のある方

定員：40名

## WS-7 災害時に向けた医学・歯学教育を考えよう！

ML

企画： 岡 広子（広島大学）、熊谷章子（岩手医科大学）、勝村聖子（鶴見大学）、斉藤久子（千葉大学）

日時： 8月10日(土)9:00～13:00

概要： 災害大国である日本では毎年多くの人々が犠牲となっている。近年卒前教育においても、災害医学・歯学が扱われるようになった。災害現場では医師・歯科医師・看護師・救急救命士・歯科衛生士・臨床心理士等に加え、警察、自衛官、消防等が活動している。各分野の専門的知識・態度・技術の理解のほか、同じ目的に向かう多職種連携は欠かせない。多職種連携・災害医学教育に関係しながらも、我々は災害時に他の職種が何をしているか知っているだろうか。今回は、災害時に向けた教育・訓練を共有し、多職種連携を軸に災害医学・歯学教育を再考する。

対象： I P E、災害医学および災害歯学に関する教育に関心のある方

定員：20名

## WS-8 既存のカリキュラムで「健康格差の社会的決定要因(SDH)」を教える・学ぶ

CD

企画： 武田裕子・葛玉栄（順天堂大学）、小曾根早知子（筑波大学）、堀 浩樹（三重大学）

日時： 8月10日(土)9:00～13:00

概要： 生活困窮のため受診を控える糖尿病患者、抑うつ・自殺企図のリスクを抱える性的マイノリティの方々等、社会の様々な状況・要素が「健康」に影響し健康格差の原因となっている。WHOはそれを「健康の社会的決定要因(Social determinants of health:SDH)」と呼び、医療者に取り組みを求めている。医学教育モデル・コア・カリキュラム平成28年度改訂版では、このSDHが初めて学修目標に入った(B-1-6②：社会構造と健康・疾病との関係(健康の社会的決定要因)を概説できる)。患者が抱える様々な困難を認識し、自らの専門性・影響力を用いてアドボケートする医師の育成は、社会のニーズに応える医学部の責任(social accountability)である。本WSでは、格差が広がる中、SDHを医療者教育で取り上げる意義を概説する。過密なカリキュラムにおいて、既存の講義・実習を活用して新たにSDH教育を導入する方策を、実践例から考えてみたい。

対象： 地域医療実習やプロフェッショナリズム教育等に関心がある教員・学生

定員：30名

## WS-9 質的研究をはじめよう！ - 研究計画を体験してみる

R

企画： 長谷由紀子（静岡県立大学）、脇 忠幸（福山大学）、梶谷佳世（呉記念病院）、今福輪太郎（MEDC）

日時： 8月10日(土)9:00～13:00

概要： 医療者教育において質的研究の意義が認識されているものの、「なかなか一步を踏み出せない」「量的研究しかしたことがなくハードルが高そう」という方も少なくない。質的研究は、量的研究では測りにくいプロセスや文脈、社会的相互関係に依存した言語的情報から理論を生成していく。プロセスや相互関係を重視した医療や医学教育研究を行う上では、質的分析から得られた知見は大変有用である。今回は、質的研究の経験が（あまり）ない初学者を対象に、質的研究の基本理念やアプローチを学んだあと、参加者の皆様が取り組みたいと思う研究テーマをどのようにデザインしたいのかを考える。そして質的研究デザインの流れがイメージでき、「明日からやってみよう！」と思えるワークショップにしたい。

対象： 質的研究の経験があまりない初学者、質的研究に興味のある方

定員：25名

## 参加登録方法

**事前登録制です。インターネットから直接お申し込みください。**  
**「MEDC」で簡単検索できます。**

**締め切り：2019年7月28日(日)**

ホームページからお申し込みできない方は、お電話（058-230-6470）にてご連絡ください。  
ワークショップ運営上、各々定員を設けております。  
申し込み多数の場合、ご参加いただけないこともあります。ご了承ください。

**参加費：** 2,000円 学部学生無料

**懇親会費：** 4,000円

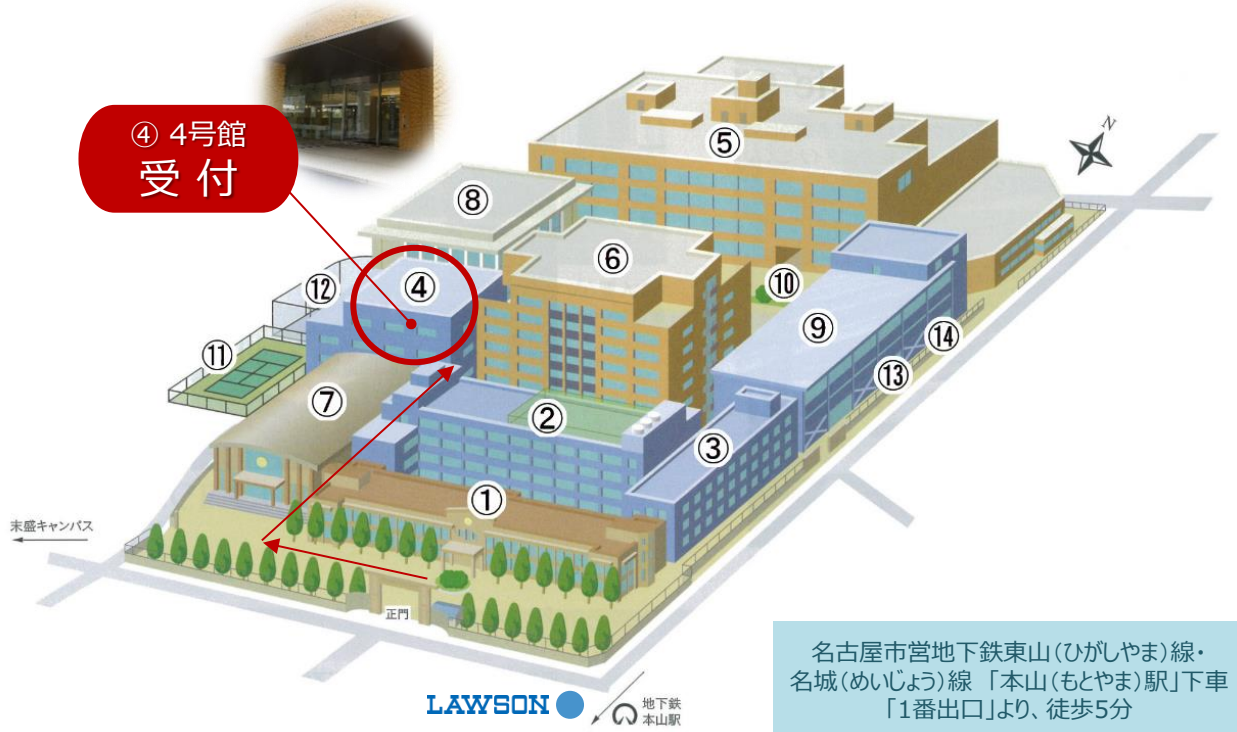
参加費・懇親会費は、受付時に徴収いたします。

参加費は、当日資料ならびに第73回医学教育セミナーとワークショップの報告が収録されている「新しい医学教育の流れ」の作成等に使用いたします。参加者には後日、「新しい医学教育の流れ」の冊子およびCD-ROMを送付いたします。

（学部学生への送付はありません）

**会場：** 愛知学院大学 楠元(くすもと)キャンパス

(〒464-8650 名古屋市千種区楠元町1-100)



名古屋市営地下鉄東山(ひがしやま)線・名城(めいじょう)線「本山(もとやま)駅」下車  
「1番出口」より、徒歩5分

### CAMPUS MAP INDEX

- |                            |                  |
|----------------------------|------------------|
| ① 1号館・法人本部棟                | ⑧ 歯学・薬学図書館情報センター |
| ② 2号館・3階 歯科技工専門学校 教員室      | ⑨ 体育館            |
| ③ 3号館・短期大学部棟               | ⑩ グラウンド          |
| ④ 4号館・カフェテリア               | ⑪ テニスコート         |
| ⑤ 歯学部基礎教育研究棟               | ⑫ ゴルフ練習場         |
| ⑥ 薬学部棟 (3階歯科技工専門学校講義室・実習室) | ⑬ 自転車置場          |
| ⑦ 110周年記念講堂                | ⑭ バイク駐輪場         |